

多摩永山中学校だより

編集・発行 校長 佐藤 信雄

<http://schit.net/tama/ihtamanagavama/>

とつくにの神様と聖夜

校長 佐藤 信雄

いよいよ今年の残りもあと一週間足らずとなり、明日から冬休みを迎えます。比較的長かった2学期、色々なことがあった2学期も今日でおしまいです。始まりがあるものにはすべて終わりがありますが、改めて振り返ってみると、過ぎていった時間というものは、何とはなしに寂しい気持ちを感じさせますね。

その寂しさの反面、町はクリスマスの赤と緑、金と銀の飾りで彩られ、それが終わるとお正月の飾りが始まります。一年中で町が最も彩りが豊かになり、にぎやかになる季節です。内面の寂しさと、町のにぎやかさのコントラストが印象的な季節といえます。

クリスマスはもともとはキリスト教の祭典です。イエス・キリストの降誕を祝ってのものですが、この日にイエスが誕生したかは分かっていません。ヨセフとマリアという、若く貧しい夫婦がこの日ベツレヘムの都を訪れた時、宿屋には部屋がなく、二人は馬小屋で過ごすことになりました。その夜イエスが生まれたのだといひます。

キリスト教の宗教的なお祝いですが、キリスト教の信仰をもたない人々にも文化的な祝いとなっています。クリスマスは冬の休日の始まりに当たることが多いことや、冬至を祝っていた古い習慣も重なっているのでしょう。ツリーを飾り、ケーキを食べ、カードやプレゼントを贈り合い、家族で祝う。時には、新しく家族に加わるであろう恋人を招いて、家族に紹介することもあるそうです。ALTのニコラス（ニック）先生はカナダのご出身ですが、どんなクリスマスをお過ごしだったのでしょうか？ 英語でお尋ねしてみたいですね。

ところで、なぜクリスマスは心を浮き立たせるのでしょうか？ なぜ私たちはクリスマスに心躍るのでしょうか？

お正月には初詣で神社にお参りする生徒の皆さんもおいでのことと思います。神様がいらっしゃるのには神社だと思えますよね。ところが実は、神様は普段は神社にはいなかったのです、昔々は。

昔々、今は日本と呼ばれるこの土地に住んでいた人々は、ある時期になると神様は海の彼方から波に乗って、または空の高みから山を伝ってこの国においでになり、滞在した後にまた海や空に戻られていくのだと、信じておりました。時期によって訪れるまれなる存在、それがこの国での、もとの形の神様だったのだそうです。その神様が滞在される場所が神社であり、おもてなしをする役の人間が巫女（みこ）でした。巫女は古くから、神様と人々をつなぐ役割をもっていました。邪馬台国で有名な女王、卑弥呼もおそらく巫女的な存在であったと言われていいます。神様を祭る祭事と、人々を収める政治とが「まつりごと」として分離していなかった時代の話です。

さて、お寺においでのお仏様はというと、もともと仏様は大和朝廷の時代に外国から日本に渡り来してきた信仰です。もともと神様を信仰する神道（しんどう）があったこの国に、新しく伝来したのが仏教でした。異なる信仰が会うと争いになりやすいのは世界の歴史を学ぶとよくわかることなのですが、私たちの先祖は比較的穏やかに仏教を受け入れ、自分たちの心に内在化させていきます（仏教の受け入れが原因の一つとなり、朝廷と豪族の間で戦争も起きましたが、短期間に収まっています）。こうした時代に、仏教の隆盛のために先頭に立っていたであろう人が、社会科で学んだあの聖徳太子です。3年生は修学旅行で、彼が建てたと言われる法隆寺に行きましたね。

もともとの日本の神様は、特別な時機に遠くからおいでになるものだった、仏様は外国からいらした存在だった、この2つを考えると、なぜ私たちがクリスマスという外国の、いわば異文化を短期間に受け入れ、多くの人々が楽しむようになったかの一端が分かってくる気がします。

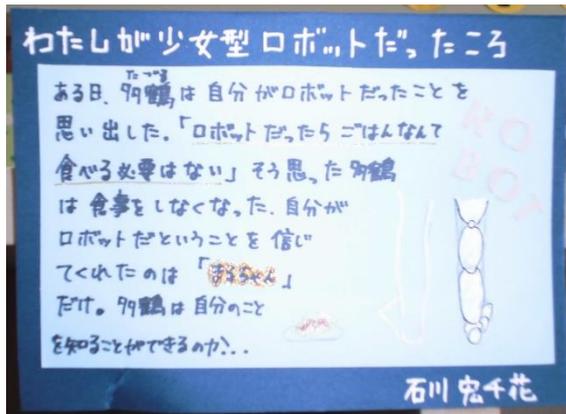
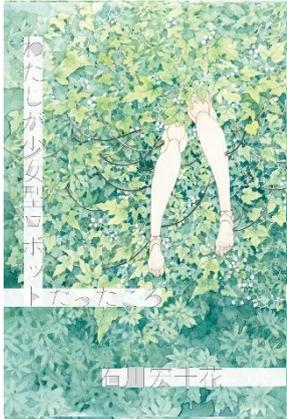
私たちは祖先の時代から、遠くからやって来る聖なる存在を大切にすることをもち、それを伝えてきた習わしをもっています。それがまだ脈々と息づいているようです。また神様や仏様に付随して外から、外国から来る文化と品々も、この土地に住む人々を喜ばせました。現代の日本人は世界的にみても外国のブランド品が大好きだと言われますが、外国からのものをありがたがり、尊ぶ習慣は、大昔から変わらなかったようです。飛鳥や藤原、奈良の時代、その時の日本の都には、外国からの人々もたくさん活躍されていたのでしょう。クリスマスが本格的に日本に入ってきた明治時代の東京のように、この国は昔々、今と負けないくらい国際的だったのですね、実は。

皆さんは何歳くらいまで、サンタクロースを信じていましたか？ サンタさんからのプレゼントを楽しみに、枕元に靴下を並べて眠るという習慣はまだ続いているのでしょうか？ 誰にどんな贈り物をなさいますか？

あなたが、素敵な人に素敵なプレゼントをあげる日が来ますように。それが続きますように。Merry Christmas!

図書館へ行こう！

「私はロボットだった。人間じゃなくてロボットだった。そのことを私はすっかり忘れて生きてきた。」



『私が少女型ロボットだったころ』
石川 宏千花 2018 偕成社

この本を学校図書館で手に取ったきっかけは、本棚に掲示されていた一枚のPOPでした。この作品をお勧めし紹介するポップに誘われ、この本と出会えました。教職と並行して心理臨床を歩んできたつもりには、たいへん切なく悲しく、そして再生へ向けての力を感じる作品でした。こうした佳作に出会わせてくれたPOPの作者

は、3年3組の高橋友香さんです。1年生の国語の授業で作成したそうです。目にした人に、「この本は面白そうだな」「どんな内容だろう」と思わせ、作品との出会いをつなげられる、シンプルで見事なポップです。皆さんもぜひ図書館に来て眺めてください。そしてもし関心をもたれたら、この本を手にとってください。(番号 913-イ)

※ POP (ポップ) とは、「Point of purchase advertising」を略したものです。紙や布、プラスチックや木のボードなどで、商品名やその魅力、価格、商品のセールスポイントや説明文などを伝えるものを言います。

2年生は職場体験に行ってきました

第2学年の生徒は、11月20日(月)～22日(水)の3日間、多摩市内や近隣に出かけて職場体験をしました。各事業所に出かけ、ご指導をいただきながら、働くことの実際とその尊さ、厳しさ、喜びを体験しました。受け入れとご指導を快く引き受けてくださいました各事業所の皆様に、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

ご協力を賜った事業所 (五十音順)

相澤農園	多摩動物園
あおぞら保育園	タリーズコーヒエグリナード永山店
アクアブルー多摩	東京消防庁多摩消防署
イオンシネマ多摩センター	永山小学校
伊藤農園	永山学童
瓜生小学校	永山小学童
オートバックス多摩店	永山児童館
かしのき保育園	永山図書館
カフェ・ド・スール	永山健康ランド 竹取の湯
国際ソフトウェア株式会社	日本アニメーション株式会社
こぐま保育園	美容室 Re:chaLu
サミットストア東寺方店	星野製作所
しまむら貝取店	みらい保育園
GU 京王聖蹟桜ヶ丘店	ユニカ FM 千歳屋
西友永山店	ゆりのき保育園
多摩市立中央図書館	

皆様、ご協力を賜り、ありがとうございました！



協力して品出しをします



アニメのトレースは慎重に



すごい集中力ですね



「いらっしゃいませ！」



日付順に並べていきます

図書館に英語の紙芝居がやって来ました！

11月30日(木)昼休み、図書館で英語による紙芝居が上演され、多くの生徒が楽しみました。上演してくれたのは、恵泉女学園大学のKEES(キーズ 恵泉英語教育研究会)の学生のお二人です。お二人は、おなじみのKPKA(恵泉女学園大学平和紙芝居研究会)のメンバーでもいらっしゃいます。日ごろから磨かれている英語力を発揮して、『みんなでポン』と『大きく、大きく、大きくなあれ』を上演してくれました。中学生にもわかりやすいように基本的な英語で上演してくれましたが、日本語とはまた一味違う楽しさと迫力がありました。最後はクリスマスソング『We Wish You a Merry Christmas』をみんなで歌ってお開きとなりました。KEES・KPKAのお二人、ご多用な大学生活の傍らおいいただき、素敵な楽しいひと時をありがとうございました。



明るく、楽しく、始まります



大きくなったよ～みんなで分けよう



♪♪♪ Merry Christmas ♪♪♪

平和の語り部になろう！ 出前講座 KPKA in 第1学年

12月8日(金)は太平洋戦争開戦の日でしたが、くしくもこの日、KPKAの皆さんが1年生に向けた「平和の語り部になろう 平和紙芝居出前講座」に来てくださいました。上演者である学生の方の中には韓国からの留学生の方も3名おいででしたが、お上手な日本語で真摯に平和について伝えてくださり、みんなで平和の在り方について考える機会をもつことができました。オープニングの手遊び歌『始まるよ』、紙芝居『みんなでポン』で楽しく始まり、紙芝居『二度と』を鑑賞し、昭和初期の長い戦争の歴史を学び、自分たちが『二度と』を上演する体験を通して、戦争と平和についてめいめいが思いをはせました。1年生の参加する態度は授業が進むにつれてどんどん主体的になっていき、たいへん立派でした。また保護者のみなさまにもご参観いただき、ありがとうございました。世界で侵略、紛争が続いていますが、KPKAの合言葉である「私たちは微力であっても、無力ではない」を胸に、ハチドリのようにできることを誠実にしていきたいと改めて考えました。KPKAの皆様、ありがとうございました。1年生の皆さんもよい学びができてよかったですね。年明けは2年生、3年生の出番ですよ！



「始まるよ」の後は自己紹介



楽しい楽しい『みんなでポン』



昭和の戦争について学びます



名作『二度と』の上演



『二度と』を班ごとに体験します



学生の方は真摯に語ってくれます



平和を祈る『幸せなら手をたたこう』の合唱。ニック先生も笑顔です。

多摩市と学校からのお知らせ

敬称略

歯と口の健康啓発標語コンクール

11月号で受賞をお知らせしましたが、11月21日に市役所で表彰式が開かれ、阿部裕行市長から表彰状が手渡されました。おめでとうございます。

中学生の部 最優秀賞 川上 凜 (2年)

「磨こうよ 心と体 プラスで歯」



阿部市長から賞状をいただきます

緊張で少しドキドキかな？



おめでとうございます！

全国中学生人権作文コンテスト

夏休みの取組として参加していただきました。力作の中から1年の澤路さんが見事に入選されました。作品は、①人権週間パネル展(令和5年12月27日(水)～令和6年1月11日(木) 於 多摩市役所本庁舎1階ロビー)と、②人権啓発パネル展(令和6年2月8日(木)～13日(火) 於 京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターAB館5階連絡ブリッジギャラリー)で展示されます。ぜひお立ち寄りくださいますよう、お願い申し上げます。

多摩西地区大会 多摩西人権擁護委員協議会長賞 澤路 月紀 (1年)

日野間税会(多摩市、稲城市日野市)主催 令和5年度「税の標語」

本年6月に「税を考える週間」に合わせて「税の標語」が募集され、4,070点の応募がありました。その中で、宮澤凜さんの作品が日野間税会佳作に選ばれました。おめでとうございます。

日野間税会佳作 宮澤 凜 (2年) 「納税で 小さな一歩 広がる未来」

薬物乱用防止ポスターコンクール

東京都薬物乱用防止推進多摩市協議会から表彰がありました。おめでとうございます。

佳作 大藺 漣 (2年) バルア ティナ (2年)

特別賞 市成 千春 (2年) 川合 遥斗 (2年) 十河 花凜 (2年) 明田 悠弥 (2年)

平 小瑚 (2年) 田中 梨沙 (2年) 古市 律子 (2年) 百瀬 菜那 (2年)

綿谷 明日陽 (2年)

躍進する部活動 それ行け！たまなが中生！【敬称略】

○女子バレー部

◆第7ブロック順位決定戦：12月3日(日)、多摩市立多摩永山中学校会場 新人戦：11勝4敗

多摩永山中○2-0●八王子市立元八王子中<25-18、25-7>

多摩永山中●0-2○町田市立南大谷中<23-25、18-25>

これらの試合の結果、第5位は町田市立南大谷中学校。そして第6位に多摩市立多摩永山中学校、第7位が八王子市立元八王子中学校となりました。応援ありがとうございました！

◆第23回たまカップ 12月10日(日)

優勝 多摩永山中学校

多摩永山○25-9●鶴牧

多摩永山○25-9●聖ヶ丘

多摩永山○25-6●東愛宕

多摩永山○25-13●多摩

多摩永山中学校Bチーム 1位

多摩永山B○15-7●諏訪B

多摩永山B○25-12●多摩B

優秀選手賞 相澤 杏 (2年)

多摩永山○25-7●大妻多摩

多摩永山○25-17●和田

多摩永山○25-19●諏訪

多摩永山B○15-6●和田B

Bチームも一緒によく頑張りました！



たまカップ優勝おめでとう！

生徒の皆さんと保護者の皆様へ 書き損じはがきキャンペーンへの協力をお願い

本校の大切な連携先である恵泉女学園大学の学生の方から、「書き損じはがきキャンペーン」への協力の依頼が届きました。貧困や紛争、災害などで苦しんでいる途上国の子どもたちの力になろうと、取り組んでいます。皆様のご家庭に「書き損じのハガキ」「未使用で不要のハガキ」「使用済み切手」「未使用で不要の切手」がございましたら、ご賛同いただける場合は、ご寄付願いたく、お願い申し上げます。本校2階の校長室入口に紙袋を設置しますので、お子様を通してその中に入れていただければ幸いです。期間は2月9日(金)までです。